

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 27日

事業所名 佐賀県療育支援センター 児童発達支援センター くすのみ園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的室遊び等の体を動かして遊ぶような空間では、職員数と利用定員を考慮しながら活動している。 ・現在通園している園児さんが定員割れしているため、特に狭く感じたことはない。 ・多目的室は、安全に利用できるよう、一度に利用する人数が適切になるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室のスペースは基準には適合しています。 活動スペースについては、事前の調整を行い、快適な空間づくりに努めています。
	2 職員の配置数は適切である	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・移動時などは応援職員を配置することもある。 ・職員が休んだり、研修等でいない場合も他の職員で上手くカバーできていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置は基準以上となっており、今後も利用児の安全安心に配慮しながら療育を行います。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの園児に合わせて、スケジュールや手順書を使用している。各活動場所ごとに写真カードを設置している。また、必要に応じてパーティション等で仕切っている。 ・特性に応じたクラス編成とバリアフリーの施設で療育を行っている。 ・利用児に合わせて視覚的支援を加えるなど情報伝達の工夫を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体や個別に応じて構造化された環境を設定しており、今後も取り組んでいきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、園児降園後に活動場所の清掃とおもちゃの消毒を行っている。 ・毎日の清掃により清潔に保たれており、子供の活動量を考えた療育の提供がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日環境整備と清掃に取り組んでおり、今後も快適な環境を整えていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	14	0	業務改善や次年度会議を職員全体で行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14	0		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	14	0		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11	3	<ul style="list-style-type: none"> ・今年コンサルテーション実施。業務に対して改善になった。 ・有識者によるコンサルテーションを受け、業務の改善に努めている。 	<p>【課題】</p> <p>コンサルテーションは行っているが、外部評価を行っていない。</p> <p>【改善目標】</p> <p>外部からの意見を取り入れ、業務改善に努めます。</p>
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに研修一覧の年間計画を確認し、受講したい研修については希望を出し、受講している。 ・希望研修に参加できる環境にある。 ・自己研鑽の研修も受講することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も研修の機会を増やし、職員の質の向上を目標に、自己研鑽に努めていきます。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	14	0	・支援計画作成前には保護者のニーズを聞き取り、面談を実施している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	14	0	・ポータージを参考にしながら、園児の課題や目標設定を検討している。 ・ポータージプログラムのチェックリストを用いて発達状況を確認している。	・今後も標準化されたアセスメントツールの適用を行い、適切な支援に努めます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14	0	・クラス間で各園児の支援内容を把握し、日々の療育を実施している。 ・個別支援計画に基づき支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	14	0	・活動案は、クラス職員全員で、これまでの活動の反省点や良かった点を話し合いながら調整している。 ・クラス会議で話し合いの場を持っている。 ・毎月のクラス会議で翌月の活動を行っている。 ・毎月クラス会議を開催し、クラス職員全員で活動プログラムを決定している。 ・障害の特性上、変化に弱いお子様は新たなことに対し抵抗があり、繰り返し行うことで活動に参加できることもあるため状況に応じ工夫を行っています。	・今後も職員が連携しながら、クラスのチーム運営に当たります。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14	0	・週の初め（月・火）は園児が大きく動けるような活動を取り入れ、広い空間を使用している。また、1人1人が楽しめるように、好きな活動を取り入れるようにしている。 ・これまで実施してきたプログラムに、少しずつ新しい変化を入れて固定化しないようにしている。 ・同じ場所でも、遊具を変えたり変化ある活動計画、取り組みをしている。 ・固定化しないようにクラス会議にて編成している。 ・季節を感じる活動を取り入れている。	・今後も職員の工夫により、活動プログラムに変化を持たせて、より良い支援をしていきます。	

16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	14	0	・個人ワークや集団活動と月間計画をたてて実施している。	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	14	0	・業務分担や担当園児の把握など、それぞれで意見を出し合いながら確認している。 ・毎朝打ち合わせを行っている。	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	14	0	・終了後には、反省点や良かった点など意見を出し合い細かく確認を行っている。 ・クラス間で日報を共有し、互いに補足を書き込めるようにしている。 ・必要に応じて特記事項等は日報に記載している。	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	14	0	・日々の支援内容を記録し、クラス間で情報共有している。 ・毎日活動記録を作成。クラス間で情報を共有している。 ・毎日ケース記録の記入を行っている。	
20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	14	0		
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	14	0	・サービス担当者会議へのお誘いがある際は必ず参加している。	・担当者が相談支援連絡会に参加しており、今後も資質の向上に努めています。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	12	2		【課題】 ・連携する機会がなかった。 【改善目標】 ・関係機関とのネットワーク構築を図り、連携に努めます。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	3		【課題】 ・医ケア児や重症心身障害児は在籍していない 【改善目標】 ・将来的には受け入れができるよう努めます。
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	3		
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	0	・配慮すべき点などについて細かく情報共有を行っている。 ・本人の生活状況、特性等保護者と確認したことを幼稚園に伝えた。 ・併行通園の開始により、保育所の情報交換の機会等が増えた。	
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13	1	・配慮すべき点などについて細かく情報共有を行っている。	
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	13	1	・在園児が利用している事業所の見学を実施。	・児童発達支援センターの見学や所内研修を通じて、研鑽に努めます。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8	6	・保護者の希望に応じて行っている。 ・保護者の希望を聞き、計画的に進めている ・一部 ・保護者の希望により交流保育を実施したり、また、子どもの発達段階など必要に応じ、交流保育を実施している。	

関係機関や保護者との連携

29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	6		<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会自体が無い ・佐賀地区での子ども部会の自立支援協議会は開催されていない。 <p>【改善目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内で実施されている協議会に参加し、情報収集をしていきます。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	14	0	連絡帳や面談等で情報共有を図っている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の希望に応じて行っている。 ・保護者支援としてポータルプログラムを活用し、子どもの特性や対応の方法など伝えています。 	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	14	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	14	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	14	0		【課題】 ・保護者会はあるが、保護者同士の連携については十分に支援できていない。 【改善目標】 ・保護者参加の行事を通して、保護者同志の連携支援に努めていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	14	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13	1	・クラスだよりを毎月発行し、毎日の活動や活動に必要なことを発信している。 ・制作物等と一緒に日ごろの活動写真等を配布している。 ・毎月の園便りの発行。 ・クラスだよりを毎月発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	14	0	・個人情報については、必要に応じて職員同士で情報共有を行い、重要書類については速やかにファイルに綴っている。	
非常時等の対応	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14	0	・園児への情報伝達については、絵カードや写真カードを用いている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	10	・地域住民を招待する行事は現在していない	【課題】 ・外部との交流はなし。 【改善目標】 ・園外歩行などで、交流を進めていきます。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	14	0		【課題】 ・保護者には周知していない 【改善目標】 ・今後、職員や保護者への周知に努め、訓練は継続していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	14	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	14	0	・入園前の面談時と入園時に再度確認を行い、状況を把握している。日々の保護者とのやり取りの中でも、随時情報共有を行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	14	0	・医師の指示書に基づき、栄養士と確認を行いながら対応している。年度が変わる際は、継続してくすのみ園を利用される方のみ再度検査を行ってもらい、書類の提出をもらう。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	1		・ヒヤリハット事例は今後も職員間で情報共有していきます。
非常時等の対応	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	14	0	・定期的に虐待防止アンケートを実施し、研修への参加を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	12	2	・個別支援計画には記載していない ・支援計画への記載はない（その他は行っている。）	・身体拘束が必要なお子様がおられる場合には、個別支援計画書に記載し、適切に対応します。